



地域新価値共創プロジェクト ~WACCA2040~

Wakayama, Community Collaboration & Acceleration



2026年5月開講 募集要項

法人紹介



学校法人 **先端教育機構**
Advanced Academic Agency

先端教育機構が目指すもの
事業と社会を構想する人材の育成

事業構想大学院大学 **構想を研究し、事業のアイデアを形にする**

理想の姿を描き、実現可能な計画に落とし込む事業構想について日本で唯一体系化したカリキュラムを保有する社会人向け大学院です。2012年の開学以来、800名を超える事業構想人材(事業構想修士)が修了し、新事業開発の成功など修了生が全国で活躍しています。顧客開発や経営・構想計画について学び、経営資源を活用した実現性と独自性の高い事業計画を構築します。



事業構想大学院大学 **東京校**
表参道駅・1分



事業構想大学院大学 **大阪校**
大阪駅直結 グランフロント大阪



事業構想大学院大学 **名古屋校**
名古屋駅直結 JRゲートタワー



事業構想大学院大学 **福岡校**
博多駅直結 JRJP博多ビル

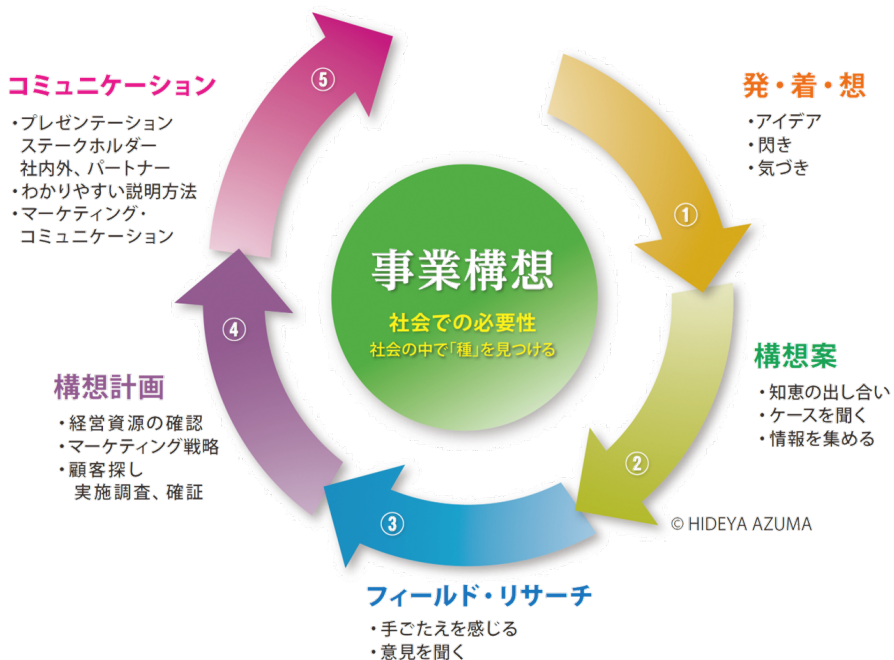


事業構想大学院大学 **仙台校**
仙台駅直結 JR仙台イーストゲートビル



社会構想大学院大学
表参道駅・1分

事業構想の考え方



プロジェクト研究開講にあたり

メッセージ



関西電力株式会社
執行役常務
池田 雅章

弊社はこれまでから、様々なステークホルダーと連携しながら地域社会の課題解決に取り組むなど、事業活動等を通じた社会貢献活動を実施してまいりました。今日、人口減少や環境問題をはじめとした社会課題が先鋭化する中、企業市民としての活動も含めた社会貢献活動をこれまで以上に積極的に展開していくため、2024年6月、「関西電力グループ社会貢献活動方針」を制定。「環境保全」「地域活性化」「次世代層育成」を重点分野に、地域や社会の課題解決や活性化に積極的に取り組んでいます。

和歌山県では地域行事への参加や地域の小・中学生向けのエネルギー教室などの取組みを進めてまいりましたが、今回、「地域活性化」「次世代層育成」のための新たな取組みとして、地域の持続的な発展に向けて行動できる次世代人材を育成するためのプロジェクト研究『地域新価値共創プロジェクト～WACCA2040～』を実施します。実施にあたっては、和歌山県さまと次世代人材育成に関する経験・ノウハウを持つ事業構想大学院大学さまと共に、産・官・学で連携してプロジェクト研究を進めてまいります。

私たちとともに、様々なステークホルダーと連携しながら、地域の抱える課題に多角的な視点でアプローチし、和歌山県の次世代を担う熱意ある方々のご参加をお待ちしています。



和歌山県知事
宮崎 泉

和歌山県では、全国に先んじて人口減少や少子高齢化が進行し、地域を支える人材の確保が困難になるなど、様々な社会課題が生じています。こうした状況に真正面から向き合い、地域の未来を切り拓いていくためには、地域社会への誇りや愛着（シビックプライド）はもとより、地域のために貢献したいという志をもった人を増やし、世代や立場を超えたつながりや行動を次世代に受け継いでいくことが必要です。

その実現に向け、本県は、関西電力株式会社、事業構想大学院大学と連携し、「地域新価値共創プロジェクト～WACCA2040～」を立ち上げました。本プロジェクトでは、研究参加者が地域に深く入り込み、地域課題を自らの視点で捉えなおし、ゼロから事業構想を描き、実現可能な事業創出モデルへと磨き上げていく実践的なプログラムを展開します。

失敗を恐れず新しい社会課題を発見し、既存の枠組みにとらわれず新たな価値を創造するアントレプレナーシップマインドをもって、異業種や地域と協働して挑戦する姿勢は、持続可能で活力ある地域社会を築く上で必要不可欠なものです。

本プロジェクトへの参加を通じて得られる経験やネットワークは、研究参加者自身の成長の糧となるとともに、和歌山の新たな可能性を切り拓く大きな原動力になると確信しています。和歌山の未来づくりに主体的に関わりたいという熱意ある皆様の積極的な御参加を心よりお待ちしております。

地域新価値共創プロジェクト～WACCA 2040～の概要



持続可能な経営のためには、新事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。人口減少や気候変動やデジタル技術の革新など社会が大きく変容するなか、社会を見据え、多様化する顧客ニーズに合わせた新たな事業モデルを構築することが求められます。

「地域新価値共創プロジェクト ～WACCA 2040～」では、

- 和歌山地域の地域課題解決に寄与する新規事業を構想します。
- 事業の根本からアイデアを発想し、理想となる新たな事業モデルを作り上げます。
- DXやAI活用など最先端分野の有識者から得られる知見とともに社会変化を洞察し、新規事業を構想します。
- 異業種の企業やパートナーとの知の共有探索や、コラボレーションによる共創を実現します。
- 約9か月間の研究会を通じて気づける素養を磨き、新たな事業を構想する人財を育成します。

新事業の創出を行う研究会

本研究会は、事業構想大学院の事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを生かし、テーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う研究会です。

担当教授と20人の研究員

研究会は、原則20人の研究員で構成されます。1人の担当教授が本研究期間を通してコーディネートとファシリテーションを行い、研究員の知見を高めながら推進していきます。

充実のカリキュラムで構成された研究会

研究会は約9か月間の開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の新事業の創出を支援していきます。

研究員の資格を付与

プロジェクト参加者は、本学の事業構想研究所 研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。研究員は日常の仕事と両立させながら、研究会に参加します。

スケジュール・カリキュラム

体系を立てて進め、個性を最大化した構想と構想計画をつくる

<プロジェクト研究の構成内容>



	開催日	場所	14:00-16:00	16:00-18:00	到達目標
Phase 1 インプット・ キックオフ	1	5/13(水) KeySite 和歌山	オリエンテーション、自己紹介	和歌山県の地域活性化戦略	各自の経験・問題意識・バッションを共有し、学習意欲を深める
	2	5/27(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	事業構想と発着想	個人発表	事業構想の「発着想サイクル」について理解を深める
	3	6/10(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	フィールドリサーチ	個人発表	地域フィールドワークの論点について理解を深める
	4	6/24(水) (和歌山県内)	フィールドワーク①:地域資源や地域課題の把握		地域課題と特徴について理解を深める
Phase2 発着想と 仮説構築	5	7/8(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	社会課題トレンド	グループ・ディスカッション	事業構想の原点となる社会トレンドについて理解を深める
	6	7/22(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	アントレプレナーシップ	グループ・ディスカッション	事業構想の原点となる資源ベースについて理解を深める
	7	8/5(水) (和歌山県内)	フィールドワーク②:地域資源や地域課題の把握		地域課題と特徴について理解を深める
	8	8/19(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	クリエイティブ・シンキング	グループ・ディスカッション	アイデア着想の様々なアプローチについて理解を深める
	9	9/2(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	マーケティング・インサイト	グループ・ディスカッション	アイデア着想と受容性の検証方法について理解を深める
	10	9/16(水) KeySite 和歌山	中間発表① (WHY:取り組みたい社会課題、対象となる市場、顧客解決アイデア)		筋の良い事業構想テーマの設定と、共感性高い解決仮説を提示する
Phase 3 事業構想 の具体化	11	9/30(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	マーケティング・ベーシック	グループ・ディスカッション	顧客や生活者視点に立脚したマーケティング思考について理解を深める
	12	10/14(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	ビジネスモデルと収支計画	グループ・ディスカッション	アイデアのビジネスモデルと収支計画への変換方法について理解を深める
	13	10/28(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	コミュニケーション戦略	グループ・ディスカッション	顧客獲得に向けたコミュニケーション戦略について理解を深める
	14	11/11(水) MPD大阪 (+オンライン)	ゲスト講演③		起業家・事業家が直面してきた経験を学び、自身の事業構想に役立てる
	15	11/25(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	中間発表②に向けた個人発表とフィードバック		自身の事業構想について他者視点でフィードバックを得る
	16	12/9(水) KeySite 和歌山	中間発表③ (WHAT:商品・サービス、提供価値、ビジネスモデル)		事業構想の核となる対象顧客と商品・サービス、提供価値を提示する
Phase 4 事業構想 の計画策定	17	12/23(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	ファイナンス戦略	グループ・ディスカッション	事業実施に必要な資金獲得と会計について理解を深める
	18	1/20(水) MPD大阪 (+オンライン)	ゲスト講演④		起業家・事業家が直面してきた経験を学び、自身の事業構想に役立てる
	19	2/3(水) KeySite和歌山 (+オンライン)	最終発表に向けた個人発表&フィードバック		自らが考える事業構想のブラッシュアップを行う
	20	2/17(水) KeySite 和歌山	最終発表(HOW:4P、実施体制、収支計画、事業展開計画)		論理性と共感性が両立した実現性の高い事業構想を提示する

※カリキュラムは進捗状況により、変更の可能性がございます。

担当教員プロフィール



事業構想大学院大学
特任教授
小宮 信彦(こみや のぶひこ)

(株)電通 シニア・イノベーション・ディレクター

日本マーケティング学会 理事

株式会社電通 シニア・イノベーション・ディレクター、日本マーケティング学会 理事。左脳と右脳、オンラインとオフライン、戦略と実践等を踏まえたホリスティックな新事業開発を得意とし、多様なクライアントのビジネス変革、マーケティング戦略立案に豊富な実績を持つ。また、社内起業家としてISID Deloitte、電通eM1(現、電通デジタル)、電通コンサルティング創業に参画。現在、スタートアップ支援ならびに、2025大阪・関西万博の共創プロジェクト・プロデュースに従事。経営学修士(2001年9月 神戸大学大学院)。2018年より本学教員。

実現性高い新事業構想構築のための独自体制

◆アイデア脳をつくるための環境とプログラムを実現

本学のプロジェクト研究では、研究員同士の中で「アイデアを思いついたらすぐ人に話す」「聞いた人は、否定は厳禁で、必ずアイデアで返す」を大事な約束事にしていきます。アイデアは才能ではなく習慣です。こんなこと言ったら恥ずかしいのではないかと躊躇は、それを阻害してしまいます。そのために研究会内では心理的安全性を確保し、アイデアの習慣づけを行なっていきます。

もちろん、アイデアが出せるようになっていくために担当教員や本学教員が、研究科のエッセンスを講義。既成概念から脱却し、発想転換を起こし、多視点を持ちものごとを深く観察し、事業の種に気づいていけることを身につけていきます。多数の事業アイデアから絞り込んでくる後半では、構想計画までまとめ上げるためのマーケティング戦略、顧客開発、組織体制、収支計画立案など、実践的に研究を進めていきます。

◆共同研究会（隔月開催）への参加で多様な視点を獲得

本学では全国で多くの研究会が進んでいます。研究会の枠を超えて、構想案を発表し、分科会では発表内容を元に多様な意見交換を行っています。研究会後には、発表者、参加者ともに新たな気づきが多かったと、満面の笑みで会場を後にされています。この研究会をきっかけにコラボレーションも生まれています。研究会はハイフレックス式で実施しています。

◆実践的なフィールド・リサーチで確信を得る

デスクリサーチはもちろんのことですが、大学院のネットワークを活用し、専門家、研究者、官公庁などと面談し、考えた構想の実現性の裏付けもとっていきます。この際に研究員の肩書と名刺が有効活用されています。

また、重要なのは、フィジビリティスタディだけではなく、本当にその構想案が実現できるのか、研究員の立場を活用し、想定顧客に仮説営業を実施しています。正解は顧客の中にある。しかし、顧客自身も正解を知っているわけではありません。

◆テーマごとに専門分野の教授陣に個別相談を実施

担当教員はもちろんのこと、テーマに基づき多様な専門性を持つ教授陣に個別相談を随時実施しています。本学の教授陣は、多様な分野の実務家と、経営学に偏らず多様な分野の学術教員とで構成しています。定例研究会前後やオンラインなど、活発に実施しています。この密度が大きな鍵でもあります。

最終的なアウトプット「事業構想計画書」

定例研究会を中心に個別指導も受けながら、各研究員が1人1つずつ、「事業構想計画」を策定します。

事業構想計画書の構成例

- ・ 事業の概要(エグゼクティブサマリー)
- ・ 対象顧客
- ・ 商品・サービスの定義と顧客への提供価値
- ・ 内外環境分析(背景、経緯、市場予測等)
- ・ 具体的事業内容
- ・ フィールド・リサーチの結果
- ・ 顧客の獲得方法(マーケティングプランや営業方法)
- ・ 組織体制、協同先
- ・ 投資規模、収支計画
- ・ 事業化へ向けた課題と解決案(仮説で可)
- ・ リスクマネジメント

研究修了生の声

研究会は、事業アイデアを考える「発想」から始まり、毎回楽しく研究に取り組むことができました。考えることが多く、最初は戸惑いもありましたが、「誰の・どんな悩みを・どうやって解決するのか」、1年間考え続け、自身の着眼点が変わったと感じています。その考え方は新規事業だけでなく、自身の業務や行内の人材育成にも活かすことができています。(銀行勤務 男性)

研究会では、担当教員の広い知見に刺激を受け、また、多様なゲスト講師の講義はこれまで知らなかった興味深い内容で、毎回新鮮な気持ちで参加することができました。(市役所勤務 女性)

講義を聞くだけでなく、実践的に学べたことが自信や成長につながりました。また、新しい知識を得ながら、教員からの多角的なフィードバックを受けることができ、毎回、研究会への参加が楽しみでした。(総合メーカー勤務 男性)

募集要項

プロジェクト期間

全20回、実施期間:令和8年5月～令和9年2月 ※詳細はスケジュール・カリキュラム参照

募集人数

20名

※ご応募いただいた書類をもって選考をさせていただきます。

※選考の結果は、参加可否問わず、令和8年5月1日(金)までにご連絡いたします。

※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。

主な会場

・Key Site(住所:和歌山県和歌山市黒田185-3)

・事業構想大学院大学 大阪校

(住所:大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪北館タワーC10階)

・オンライン

※各回により、開催場所が異なる場合がございます。

対象

- ・和歌山県をより良くしたいという強い思いをお持ちの方
- ・和歌山県における経済活性化や地域課題の解決に資する事業構想に取り組みたい方
- ・プロジェクト期間を通して9割以上の日程に出席できる方

※業種や企業規模、職位等は問いません。個人事業主や自治体・NPO法人の方も応募可能です。

※お住まいの地域は問いません。和歌山県の近隣府県にお住まいで、和歌山県の地域活性化に関心・意欲のある方や和歌山県でのビジネスを検討している方なども歓迎いたします。

申込期限

令和8年4月19日(日) 申込書類必着

申込書類

①研究申込書 ②個人調書 ③個人調書に貼付の写真データ(JPEG)

申込書類送付先

申込書類を以下宛にメールに添付してお送りください。

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

「地域新価値共創プロジェクト ～WACCA 2040～」担当宛

送付先メールアドレス:pjlab@mpd.ac.jp

研究参加費

無料

※会場までの交通費及び宿泊費は自己負担となります。

※各回、ご自身のPC(タブレットでも可)を持参の上、参加をお願いいたします。

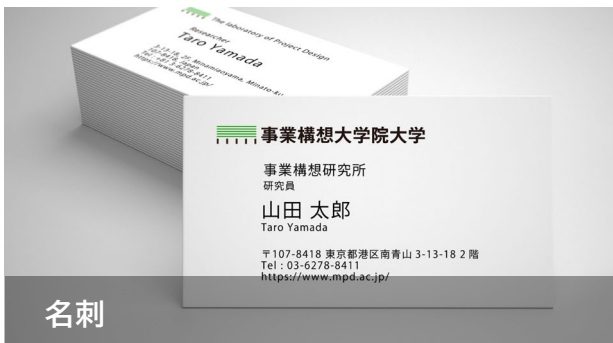
主催・共催

主催:関西電力株式会社

共催:和歌山県、学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学

事業構想大学院大学事業構想研究所の研究員

下記の通り、事業構想大学院大学事業構想研究所のプロジェクト研究員の立場が付与されます。



- 履歴書に研究員の経歴が記載可能。また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証を授与。
- 一部コンテンツのアーカイブ視聴
- 希望により学会発表や、メディア掲載の申請が可能。
- 共同研究会とは:研究会の枠を超えて他社・他研究会と意見交換を行い共創。担当教員以外の教員や他県の研究員から構想へのフィードバックを得る。

事業構想スピーチ（任意参加）

毎週、月曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施。プロジェクト研究員は参加可能。



年間40回 各回2時間

各界を代表するキーパーソンから最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、自身の構想に役立てる。

革新経営者

創業経営者

新規事業責任者

地域活性・実践者

先端企業経営者

先端分野研究者

社会起業家

ブランドマネージャー

クリエイター

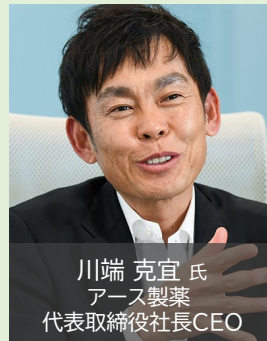
都市計画専門家

建築家

ITビジネスリーダー

過去の登壇例

※順不同



多彩なゲスト教員からヒントを得る。

個人情報の取扱いについて

本学が申込書類を通じて取得する個人情報は、

①研究員選考、②合格者発表

③参加手続き、④本学からのお知らせ、

⑤これらに付随する業務

を行う目的のみに事務局及び担当教員が利用いたします。

※事務局は関西電力株式会社、和歌山県および事業構想研究所
が共同して運営いたします。

お問い合わせ

申込みやカリキュラムに関すること

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

担当:大羽

〒450-6627 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-3

JRゲートタワー27階

TEL: 052-541-8411

Email: pjlab@mpd.ac.jp